



ぼらんていあ通信

3月号
通巻 No.520

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2025年3月25日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: https://sagamiva.info

たいへんお世話になりました!



管理者の九嶋さん

「コンセプトとして、『知的障害を持つ方々が地域社会の一員として、共に働き共に喜び、生き生きとした自立した生活が実現できるように就労の場を設け、就労のために必要な知識および技能の向上のための訓練を提供する』。同時に、地域の

「ふれあいヘルシーレストランあい」として移転・新規オープンし、平成26年に現在の就労継続支援A型事業所レストランあいとなつて現在に至ります。
レストランあいの始まりは、平成5年あじさい会館1階で福祉的就労の場として「喫茶室あい」がオープンしました。その後、平成12年のウェルネスがみはら開設に伴い、

「日頃よりご理解と協力を賜り、まことにありがとうございます。」
ウェルネスがみはら2階にあり、相模原市手をつなぐ育成会が運営する、レストランあい(就労継続支援A型事業所)は、この数年、「コロナ禍や物価高騰など逆風が続く中、なんとか運営をして参りましたが、残念ながら令和7年3月28日をもって閉所する運びとなりました。」

レストランあいの
「これまでのご愛顧のお礼です」
レストランあい 九嶋 園子



皆様ご憩いの場を提供し、障害への理解と啓発の機会となりました。また、『健康びんごの応援店』としてヘルシーメニューを展開し、日替わりのヘルシー弁当もご好評を頂戴しております。

おかげをもちまして、スタッフも地域の皆様へ愛され、繁々お声かけいただき、お客様に育ていただいたことにも大きいと感じております。彼らのがんばりや笑顔をお心に留めていただけたら・・・と願っております。

レストランあいがこれまで続けることができましたことを心よりの御礼申し上げます。

皆様の健康をレストランあい一同、心よりの祈り申し上げます。

「ぼらんていあ通信」の毎月ミーティングはレストランあいさんで開催していただきました。すでに過去云々された先輩がいた頃からですから何年にもなります。午後1時からスタートですが、いつもスタッフの平岡さんが「今日は会議の」と広いテーブルを確保してくれます。おかげで大変居心地よく、あいさんのお客さんがいなくなっても我々は会議に夢中(??)で居座りの続けましたが、スタッフの方は誰も嫌な顔ひとつせず、ミーティングが終わるのを辛抱強く待つていました。毎月、別際は「遅いけどおめんなさう」が挨拶なつていました。

あいさんが閉所され、寂しいと感じて一杯です。九嶋さん、平岡さん、スタッフの皆様、今まで本誌掲載がありがとうございました。

広報委員 相模原ボランティア協会 一同

街の小さな美術館



いつも元気で明るい平岡さん



ともに歩くなかまたち / インタビューシリーズ

『さがみはらのボランティアたち』(5) 完成!

NPO法人 チーム浅沼屋 for children and ALS の活動を映像でとらえた作品を協会ホームページにアップしました。



浅沼さんへのインタビュー、活動の様子などを動画にまとめました。どうぞご覧ください! (西本) 映像企画実行委員会

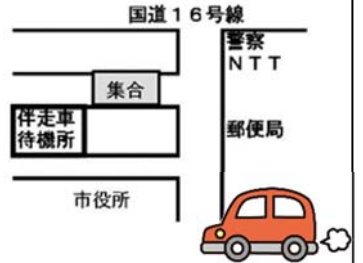
お知らせ

参加者募集!

パレードに参加しよう!

相模原市民桜まつりでは、当協会もハンディキャブ号2台を伴いパレードに参加しPR 活動を行います。

日時: 4月6日(日) 午前10:40集合
集合場所: 16号線から1本市役所寄りの道路



“ほかほかふれあいフェスタ2025”

大募集

運営・企画への参加者を募集しています!

障がいのある人もない人も、お互いに交流することにより、理解を深め、「共に生きる」まち造りを目指す「ほかほかふれあいフェスタ」です。

今年は10月11日開催の予定で準備を始めます。実行委員会では新しい運営・企画の参加者を募集しています。興味のある方はぜひご連絡ください。

*連絡先 あじさい連絡所042-759-7982
ほかふれ事務局担当・小野

クイズに挑戦



- 春が旬の魚クイズです。
- ① 次のうち、春が旬の魚はなんでしょうか?
ア サワラ イ マグロ ウ サンマ
 - ② 「腹黒い人」を春の魚に例えることがあります。その魚はなんでしょうか?
ア トヒフオ イ シラス ウ サヨリ
 - ③ シラフオの名前の由来はなんでしょうか?
ア 鱗が白いから イ 白身魚だから
ウ 死んで時間が経つと体が白く変化するか

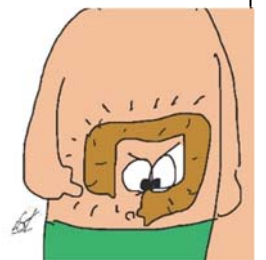
4月の記念日は?

小倉義男

4月7日は、おなかと腸活の日です。

兵庫県神戸市に本社を置き、乳酸菌の研究や医薬品の製造販売などを手がけるピオフェルミン製薬株式会社が制定。同社では乳酸菌やビフィズス菌などの善玉菌が入った整腸薬や、発酵食品などの腸に良い食事で腸内環境を整える活動のことを腸活と呼んでいる。新年度が始まる時期をきっかけに腸活を始めて、よいおなかを目指して健康になってもらいたいとの願いが込められている。日付は407で「よい(4) おなか(07)」と読む語呂合わせから。

【出典:(一社)日本記念日協会より参照】



小倉画

クイズの答え



- ① はのサワラ
漢字でも魚編に春で、「鱮」と書きます。春に捕れるサワラはさびっばりしており、柔らかで淡泊な味わいが特徴です。
- ② はのサヨリ
見た目は綺麗な魚ですが、腹を割ると中には真っ黒い薄膜がありそのことから「腹黒い人」を「サヨリのような人」として形容しています。
- ③ はの死んで時間が経つと体が白く変化するから
生きている頃は透明な体をしていますが、死んで時間が経つと体が白っぽく変色していきます。そのことから「シラフオ」として形容がして「シラフオ」です。

市内施設訪問記

ボヤマンマ

「よまゆまきのの」〜津久井やまゆりの園の今〜
井ノ口 ともみ 津久井やまゆりの園の今〜【後編】



2020年10月「津久井やまゆりの園」のあゆみや今目指す「よまゆ」具体的な取り組みを紹介しました。今回は園内での活動の場や力を入れている地域との交流について紹介いたします。

園長の永井清光さんと、支援部部長の岡崎美樹さんにお話を伺った。「よまゆまきのの」という言葉がただの理念ではなく、職員、家族、地域やボランティアの方々のたぐいあいの活動や支援「よまゆ」が実現化をわつついてるのだよ感づかれました。

＊運営方針の一つ「本人の望む生活の実現」に向けた日々の暮らし活動についてもご紹介いたします。

日中の主な活動は受注活動や農園芸、美化清掃、機能維持、本人のし好に沿った個別活動です。野菜作りでは、種まきから収穫、袋詰めを行い、市役所での販売に出店して利用者さんが販売体験を行っています。また、廃棄材料から作る「オガチャッカ」という着火剤の制作販売などの園内での活動のほか、外部の通所事業所へ通っている利用者さんもあります。

その他、園がいろいろ考えた「よまゆ」の考えから、外部の生活を体験する「チャンネル活動」にも取り組んでいます。グループホームでの生活や通所に下



活動室 ↑
オガチャッカ →

る作業活動をしてみるなど地域へ出て地域の人々と交流を重ねて本人の望む生活のイメージを作っています。

様々な経験・体験する中で本人の可能性を最大限引き出し、その入り口は地域で暮らすことには「よまゆ」を目指す活動です。

利用者さんの自治会「よまゆの会」があります。園の運営会議や園祭の実行委員会にも参加、利用者さんの意見を反映させていきます。

＊地域交流の取り組みも盛んに行っています。

相模湖地区社協の「ちよこっこのボランティア」の方ボランティア団体や個人でも訪問してくたされる方もいます。また、個人で利用者さんの話し相手やお散歩の付添いなど交流してくたされる地域の方々もおられます。

地元自治会の「納涼祭」「運動会」への参加、園の「納涼祭」に地元子ども神輿が来てくれるなどの交流があります。また、園で麻溝公園ふれあい広場の動物たちとのふれあいイベントや童謡歌手のコンサートなどに地元木良小の子ども達が来園して参加することもあります。津久井支援学校とも連携しつつも活動しています。グランドや施設を一部開放して地域の皆さんも子ども達が遊びに来ています。

清潔で広々とした園内を案内していただきました。

日中活動は一段落ついた時間でしたが、活動室に置かれたものや掲示物には利用者さんの満ち足りた雰囲気を感じられました。

居住棟は、鳥の名前の付いたユニットに分かれ、全員個室。利用者さんが顔をのぞかせて「よまゆ」に挨拶してくれたり聴かせたりして隠れてしまったら、当り前の暮らしが当たり前になっていく。その裏には職員の方々に根付いた「意思決定支援」の姿勢があり、細やかな配

慮があることが伝わってきました。

玄関前には黒御影石の水鏡と献花台からなる鎮魂のモニュメントがあります。「鎮魂」「後世へのメッセージ」「偏見や差別のないよまゆの社会を目指す」「誓い」。そのコンセプトを込めたモニュメントです。献花台には、犠牲者を偲び、「よまゆの花」の絵を彫り込ませ、「犠牲となった利用者のうち10名の御名前が、1遺族の希望で心に刻銘されています。

事件の後、悩みながら再建に尽力を尽くしてきた永井園長と職員の方々。これまでの努力は実を結びつつあり、地域と連携を図りながら、利用者さんの望む暮らしの実現を目指して園運営に取り組まれています。世間では障がい者の虐待などの事件がまだまだ続いています。人々の中に美良の偏見や差別、すべて無くなることを願ってやみません。

(石関・小川・恒藤・杉崎)

犠牲者を偲ぶ「鎮魂のモニュメント」



水を張った「水鏡」は、空を映し出すデザインとなっている。



「やまゆりの花」の絵が彫り込まれた献花台

社会福祉法人 かながわ共同会 津久井やまゆり園
〒252-0174 相模原市緑区千木良 476
TEL : 042-684-3511
園長 永井 清光



理事会報告



◆報告・審議事項
3月15日(土) 理事会(理事の名出席)

・ハンディキャブ関係者の交流会を3月29日(土)に開催する。このため来年度の運転ボランティア増員のための講座についても講座検討委員会でも検討する。

・3月の「認知症をもっと知る講座」の出席者募集をしており、50名以上の参加が見込まれる。

・NPO法人チーム浅沼屋 for children and AISの活動を映像で紹介した作品を協会ホームページにアップした。

・5月31日(土)の相模原ボランティア協会の定期総会に向けて準備が進んでいる。

・あつちのFESTIVAL in SAGAMIHARAに参加！

・あじさい会館主催で会館45周年のイベントが予定されており、当協会も日頃の活動の成果をお披露する予定です。(6月8日(日)予定)。

・6月28日(土)の交流ホワリング大会の準備が進んでいる。

・ボランティアセンター開所時間の変更に伴い「事務局運営規程」を改訂する予定です。詳細は別途広報の予定。

次回理事会4月12日(土) 10時より

相模原ボランティア協会 4月の予定

日	時間	内容
2(水)	10:00~	講座検討委員会
4(金)	10:00~	福祉バザー準備
5(土)	10:00~	市民桜まつり①福祉バザー
6(日)	9:30~	市民桜まつり②福祉バザー・パレード
11(金)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
12(土)	10:00~	定例理事会
19(土)	10:00~	臨時理事会
	13:00~	ハンディキャブ・事務局合同委員会
21(月)	13:00~	監査
22(火)	13:00~	総会議案書印刷・製本
24(木)	10:30~	ぼら通4月号印刷
	13:30~	ぼら通4月号発行



再掲

事務局開設日の変更

4月1日から事務局は、今までの日曜日・祝日に加えて土曜日もお休みになります。

☆窓口開設日時

月曜日～金曜日(祝日は除く)

10:00~15:00

よろしくお願ひいたします。

2024年度役員立候補者信任投票の結果です

3月7日(金) 役員選出管理委員より、立立人1名ごより、あじさい会館にて理事会役員信任投票の開票を行いました。

今回の役員立候補者は、白薦3名他薦3名の名となりましたが、開票の結果、立候補者の各全員の信任を確認しました。

会員数 115名(1月31日現在)

投票総数 74票(うち無効票0票)

投票率 64.3パーセント

投票箱を開けると、投票用紙が詰まっていたので、会員の皆さまの意識の高さと協会の皆さまの真摯な姿勢を目の当たりにした思いでした。

委員一同、重複の無いよう、数え漏れの無いよう慎重に用紙と向き合い、何度も確認の上で、投票総数・無効票の有無・投票率を計算し、右記の結果となりましたことを謹んでご報告いたします。

皆さまのご協力で深く感謝してお礼申し上げます。ありがとうございます。

2025年3月 役員選出管理委員会



会員のひろば

会員の皆さま、自由にご話していただくコーナーです。

ボランティアを始めたいきっかけ

元井 豊子

私が傾聴ボランティアを始めてみようと思ったのは、以前、知り合いの人から傾聴ボランティアをしていようと思ったきっかけでした。

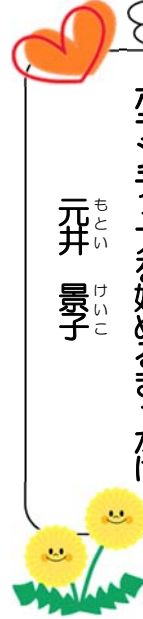
私もやってみようかなと思いついたのは、昨年のはじめ「傾聴ボランティア講座」の記事が載っていたので申し込みました。

講座では、聞き方、話し方、接し方など知らなかったこと、考え方を学びました。

私は、自分から進んで話すよりも人の話を聞く方が好きなので、傾聴はぜひ学びたいなと思っていました。そんな単純な理由ではありませんでした。そして講師の先生のお話を聞くにつれ、私にはとても難しいのでは...と思う、講座が終了して、いざボランティア協会に登録しようと思った。

迷っていた時、一緒に受講していた少し顔見知りになつた方から「聴くよ、登録するよ」といって力強い言葉を返してきて、私も「よし、終わらしてしまおう」とも思いつきました。私も「よし、終わらしてしまおう」とも思いつきました。

その一、二講座に出席してからの80代の女性の所に行きたくなりました。いつも緊張しましたが、ボランティアの方々がやさしく教えてくれたので、第一回目



はぜひごが無事に終えることができてました。先週5回目が終わったところですが、まだまだ毎回緊張の連続です。

果たしてこれで良いのだろうかと思いつきながらも、毎回の利用者の方のお話が楽しく、それを聞くのが楽しみでもあり、励みにもなり、これからは頑張ってみようかなと思いついてます。

*これからボランティアを始めようという方、とても参考にになりますね。

元井さん、利用者さんに寄り添う心があれば大丈夫！

肩の力を抜いてこれからはもうすぐくお願いします。(傾聴委員・石関)



訃報

当協会の理事としてご活躍いただいていた羽田彌さんが、過日ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

訃報

当協会の会員で、シルバー友の会の代表としてもご活躍いただいていた尾野禪男さんが過日ご逝去されました。ボランティア団体との関連で当協会にもご加入いただき、講座の時などはいつもシルバー友の会の代表としてご参加いただいていた。謹んでご冥福をお祈りいたします。なお、尾野さんの追悼文は次号に掲載します。

羽田さんを悼んで

ボランティア協会 会長 加藤 修

当協会理事の羽田 彌さんが2月22日に逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げると共にご冥福をお祈り申し上げます。

羽田さんは6年前に私と一緒に当協会の理事に就任いただきました。羽田さんは相模原市警友会代表やNPO法人れんきよの役員もされており、れんきよと協働で行っている「交流ボランティア大会」を中心に協会の講座検討委員会の管掌理事として活躍されました。

「交流ボランティア大会」は新型コロナウイルス感染拡大に伴って中止から2023年に再開したイベントとなり、羽田さんのリーダーシップにより無事に開催できたことにより、翌年以降の大会開催のモデルケースとなりました。

2024年からは病氣療養が続いており、最後にお会いしたのが来賓として招待いただいた2024年6月のれんきよの通常総会の場でした。その時はお元気なお姿でしたので、これが最後の対面になり残念でなりません。

羽田さんの当協会にご尽力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

ありがとうございます。

ボランティアさん募集！

— ボランティアセンターからのお知らせ —

○緑・中央・南ボランティアセンターの開所時間の変更について

令和7年4月1日より下記のとおり変更いたします。

ご不便をおかけいたしますが、何卒よろしくお願ひいたします。

- ・月～金曜日：午前9時～午後5時（土・日曜日、祝日は閉所）



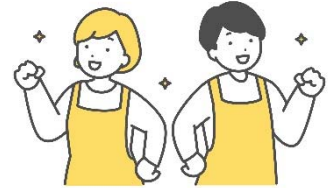
○活動者募集！（障がい者施設の利用者さんのサポート）

障がい者施設が運営する駄菓子屋さんで、次の活動をしてくださる方を募集しています

- ① 施設利用者が行う接客や品出しのサポート
- ② 聴覚障がいのある施設利用者の傾聴やコミュニケーションのサポート

場所：中央区淵野辺（淵野辺駅北口周辺）

日時：月～土曜日 午前9時～午後5時のうち、都合の良い日・時間（月1回でも可）



※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042（759）7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042（786）6181

FAX 042（786）6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



《今月のイラスト
……♡♡♡の空画♡》

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切にに使わせていただきます。

<2月の寄付者>

井上 桂様 他3名の方からご寄付をいただきました。

<2月の寄付金>

総額 22,520円でした。



会員登録更新のお願い

4月1日から2025年度の会員登録手続きを開始いたしました。引き続き継続していただいております。引き続き登録していただく会の会員の方は、あつちい連絡所においていただくか、同封の郵便振替払込票で会費を納入いただくことにより、更新手続きが完了します。

なお、ご住所・活動領域等登録内容に変更のある方は併せてご連絡ください。

事務局

編集後記

3月もあと数日。令和6年度も終わります。振り返ると今年はずいぶん原稿を書かせていただきました。口は軽いけれど、筆は人一倍重いわたし。書くのがつらいと友達にグチったところ、いろいろなアドバイスを取材している社会勉強してあげない、いろいろと返ってきた。根が素直なので「得をした」と思っています。

たまに「がんばってるねー」なんてお声がかかれば、読んでくださったのかと泣くほど嬉しくなる。

今月号も編集後記まで読んでくださいましたね。深謝。(杉)